

旭公民館だより

発行 令和7年5月
旭公民館
館長 伊吹 公雄
電話 45-5903
FAX 45-5903

地域の話 題

/岡谷町茶話会サロン/

始まりました



なかなか思うようにいきませんね～



さあ結果はどうでしょう

かった」と役員さんが話されていました。

昨年の6月に始まった茶話会も1年近く続けられることができ、いよいよ「岡谷町茶話会サロン」の誕生となりました。

第1回の定例会は5月9日（金）に行われ、参加者19名がまずは「ふちゅう夢体操」でのウォーミングアップから開始です。

そして、今回のメインとなる府中市社会福祉協議会所有（職員さん2名も手伝っていらっしゃいました）の貸出用ゲーム「だるま落とし」と「ボーリング」でみんな一緒に楽しんでおられました。

「だるま落としは意外と難しいなあ」と言いながらも何度か挑戦するうちに、うまくいくとみんなから歓声が上がっていました。

ゲームの合間には、参加者がお互いに近況を話しながらわいわいがやがやと、にぎやかにひとときを過ごされていました。

最後、佐藤会長にお話を伺ったところ、「茶話会を楽しみに待っている会員がいて聞いて、励みにもなるしやりがいを感じる」と言われ、まさに公民館活動も同じでみなさんに喜んでいただくことで、こちらも元気をもらえてありがたいことだと、日々感謝しているところです。

なお、次回は6月6日（金）、薬の基礎知識について薬剤師さんのお話を聞く予定とのことでした。

（裏面へ）



みごとなストライクでした



第1回 安全・安心で住みやすい 中須町ワークショップ開催

5/13(火)

中須町まちづくり協議会・旭公民館 共催



中須町まちづくり協議会（小寺旭会長）と旭公民館との共催による安全・安心で住みやすい中須町ワークショップの第1回を開催したところ、27名の参加がありました。

このワークショップは、安全で安心して住み続けることができる中須町を実現するため、地域住民と行政が協働し長期的展望に立った取り組みが必要であり、そのきっかけ作りになればと開催したものです。

まず初めは、町の生い立ちからまちづくり委員会ができた経緯や現在の課題まで説明された「中須町の歴史」（小寺旭制作）約40分のビデオを鑑賞した後、各町に分かれてそれぞれの危険な場所はどこか、スムーズに通行できないところは？といった問題点の洗い出しを行いました。

グループ討議では、「旭町の火事の焼け跡がそのまま放置されている」「中道が渋滞時の抜け道として通行され危ない」など、困っている状況が話し合われるなか、旭小学校ができる前の山の様子など「若い世代が知らないことを教えてもらえて良かった」との声も聞かれました。

その後各町が抱える問題点がそれぞれ発表され、最後に唐川博光幹事長が、「今回出された意見などを集約し検討を重ねていきながら、今後5年ぐらいかけてまとめていきたい」と述べられて、終了となりました。

なお、中須町まちづくり協議会では、町民に充分周知されずに活動してきた経過を踏まえ、組織の位置づけを明確にするとともに町民に理解と協力が得られることが重要であり、今後の取り組みによって信頼される組織を目指し、再構築を図っていくとのことでした。



地図に危険箇所などの印をつける
岡谷町の参加者



野村和男中之町町内会長の発表を聞く参加者

第十四回 旭寄席

開催日 6月15日(日) 午後2時開演

場 所 旭公民館2階集会室

木戸銭 1,000 円

《出演者》

笑福亭 恭瓶（きょうへい）

桂 三四郎（さんしろう）

笑福亭 学光（がっこ）